

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回福津市地域密着型サービス部会 (介護保険運営協議会)	
開催日時	令和5年7月20日(木) 19:00～20:30	
開催場所	福津市役所本館2階 大会議室	
委員名	出席委員 松本 直人 部会長、 山城 崇裕 委員、 大庭 祥子 委員、 柳谷 里枝子委員 田島 勝彦 委員	
所管課職員 職氏名	高齢者サービス課 桑野課長 介護事業所指導係 安部係長、神田、岡本	
会 議	議 題 (内容)	1. 福津市地域密着型サービス部会に関する所掌事務について(説明) 2. 福津市指定事業所の開設状況について(報告) 3. 福津市地域密着型サービスの利用状況について(報告) 4. 地域密着型サービス事業所の新規指定について(意見聴取) 5. 令和5年度運営指導の実施計画について(報告) 6. その他
	公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	3名
	資料の名称	・次第 ・資料1 ・資料2-1 ・資料2-2 ・資料3 ・資料4-1 ・資料4-2 ・当日資料 ・資料5
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録	
	記録内容の確認方法	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○結論等

1. 福津市地域密着型サービス部会に関する所掌事務について（説明）
2. 福津市指定事業所の開設状況について（報告）
3. 福津市地域密着型サービスの利用状況について（報告）
4. 地域密着型サービス事業所の新規指定について（意見聴取）
5. 令和5年度運営指導の実施計画について（報告）
6. その他

○経過

1. 課長挨拶
2. 部会長選任
3. 部会長挨拶
4. 議題

○議題の経過

1. 福津市地域密着型サービス部会に関する所掌事務について（説明）

安部係長：資料1について説明。

松本部会長：何か質問はありますか。田島委員もよろしいですか。

田島委員：はい。

松本部会長：適切な運営が行われているかといったところや、指定についてのお話となりますので、是非よろしくお願ひします。それでは、指定事業所の開設状況について、事務局よりお願ひいたします。

2. 福津市指定事業所の開設状況について（報告）

安部係長：資料2-1説明。

松本部会長：資料2-1につきまして、質問、ご意見がございましたらお願ひします。地域密着型事業所の現状の数字ということで見ていただければと思います。

安部係長：資料2-2について説明。

松本部会長：2事業所が閉じている状態、新規に1事業所ということですが、ケアマネジャーが減っているなので、新規の受け入れの時に苦勞していると思います。他に意見がなければ、次、お願ひします。

3. 福津市地域密着型サービスの利用状況について（報告）

安部係長：資料3について説明。

松本部部长：何かご意見等ありましたらお願いします。

山城委員：定期巡回・随時対応型訪問介護看護は「県下でも成功事例であると言われていた」ということですが、他は何がうまくいっていないか、ここはうまくいっているのかというのを伺いたいです。

安部係長：定期巡回・随時対応型訪問介護看護ですが、各利用者さんのご自宅を、特別養護老人ホームのお部屋とみなして、職員さんが動いていくという形態になりますが、今現在、24時間訪問サービスしらゆりさんが1事業所あり、国の基準どおり、国が想定している形態どおりに運営がなされています。

山城委員：それは、他の所があまりうまくいっていないのですか。

安部係長：例えば、サービス付き高齢者住宅等の、高齢者向けの住宅に事業所を併設し、訪問をするという形態が多いです。訪問介護と訪問看護の両方を行うこととなりますので、人員確保が難しく、国の想定した形態で運営ができていない事業所が珍しいと言われています。

大庭委員：当初、国の方針というのが、利用者のご自宅1件1件を施設化、病院化しようというところで、介護職や看護職が、随時だったり定期的な訪問をしていくサービスだったのですが、実際に人員がすごく不足していたりとかして、住宅型の施設に事業所を併設し、その中でサービスを回していく方が経営的にも楽という状況があります。その中で、私共の会社の形態は、全国でも3つと言われている、その1つに入っています。
開業の2年前から東京の施設に職員を派遣して研修をしました。どうやったら在宅で最期を看取れるか、認知症の方がどうやったら最期まで家で暮らせるかというのを、職員なりに追及して始めたサービスです。

山城委員：すばらしいですね。

松本部部长：地域密着型サービスなので、福津市民だけが対象となり、経営的にはなかなか難しいところがあり、単独型で実際に事業としてやれているところが本当に少ないですね。経営上、収益率の問題で、施設の併設で定期巡回・随時対応型訪問介護看護をやっているところも多いので、本来の形ではないと言われているところではあります。

ただ実際に資料をみても分かりますが、24時間訪問サービスしらゆりさんが福津市地域で開業されて、徐々に利用者が増えているということは、地域のケアマネジャーも、定期巡回の利便性とか実際に在宅で看取りとしてやっていくなかでは、単独の訪問看護やヘルパーよりは、はるかに融通性が高いと評価しているということです。

ただ今回、少し利用者が減っているということですが、ケアマネジャーは入れ替わりをしていきますので、ケアマネジャー向けの研修等で、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を伝えていってほしいと思います。

大庭委員：先日、ケアマネジャーの研修会で宣伝する時間がありました。今、60名まで利用者数が増えてきています。利用者が減ったのは新型コロナウイルス感染症で亡くなったからです。

松本部部长：成功例、実態例をどんどん伝えていかなければいけないですね。ケアマネ

ジャーに利活用の方法を理解してもらう。それがうまくいっている例です。定期巡回・随時対応型訪問介護看護はうまく回っている例ですが、小規模多機能型居宅介護はなかなか難しいですね。

訪問中心になったり、通い中心になったり、どうしても事業者側の都合であって、利用者側の都合になっていない点に、利用者が増えていかない理由があると思います。

施設系のサービスは要介護5が減少傾向ということですが、認定上の問題で減っているわけではありません。状態が落ち着いている方は、要介護4で認定される率が高いのだと思います。

中重度者の要介護3や4の方は、在宅生活が難しくなって地域密着型の特別養護老人ホームやグループホームの利用が中心になってきています。

山城委員：例えば10年後、20年後、施設は増やさないといけない予想ですか。

松本部長：高齢者数は増えていく状態にあります。介護の認定率を下げるためには、元気な高齢者を増やすための活動をし、在宅で生活できる高齢者を伸ばしていかないと施設は増えていきます。今現在は、住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅が増えたこともあって、特別養護老人ホームも含め、待機者数がそんなにありません。

今の状態であれば回っていきます。

山城委員：スタッフは不足しているので、今後どうなるのかと思っています。

松本部長：すべての職種で不足しています。今後の大きな課題ではあると思います。他よろしいでしょうか。田嶋さん、ご質問とかありませんか。

田嶋委員：はい。ありません。

松本部長：では4. 地域密着型サービス事業所の新規指定についてお願いいたします。

4. 地域密着型サービス事業所の新規指定について（意見聴取）

安部係長：資料4-1、資料4-2、当日資料について説明。

松本部長：こちらについて、何かご意見等ありませんか。

田嶋委員：ここはルミエールの利用者が多く、駐車場を探すのに苦労します。出入りとか送迎の方が駐車場を探すのが大変な状況だと思います。

松本部長：事業所の車はどこか駐車場がありますか。

安部係長：2階に事業所の車を止めるスペースが2台分あります。

松本部長：スタッフ数でいうと、送迎で車を2階に止めてくるというのは、大変かなという気はします。機能訓練特化型ですか。

安部係長：機能訓練に特化した事業所です。

松本部長：緊急連絡や通報装置などはどうですか。

安部係長 : 消火器 1 台、火災報知器 2 台、スプリンクラーは 15 カ所、消防設備としてはそれだけです。緊急通報装置については、指定基準の中にはありません。

松本部部长 : 災害対策の実施も含め、強化してきているところです。基準というよりも、市としての考えで、送迎時の安全管理ももちろんですが、火災とか、緊急時の対応もあるのではありませんか。

安部係長 : 現時点におきましては、災害対策のマニュアルなどは、事業所が開設されていないので、確認していませんが、福津市の方針として、開設後概ね 1 年経過の時期に、業務形態に沿ったマニュアルになっているかという視点から確認をしています。

松本部部长 : 場所が近いところで、リハビリセンター Sumika さんがあります。今の利用者数はどうですか。

安部係長 : 開設当初は、10 名で始めました。宗像水光会総合病院デイリハさんが事業を廃止された頃と重なりましたので、徐々に利用者が増え、今は 18 名です。現在の傾向としましては、介護保険が始まったころのデイサービスの形態というよりも機能訓練型が増えてきました。

松本部部长 : 自立支援型といいますか、重度者や認知症の方というよりは実際にその訓練を理解してできる方たちが行く場所として、レクリエーション型ではなくなってリハビリ型がニーズとしてあります。

安部係長 : Let's リハさんは将来的には宗像市、古賀市にも開設を考えておられるようです。今年度、春日市や北九州市にも開設しています。

松本部部长 : 機能訓練特化型が増えてきましたか。

安部係長 : デイサービスなかしまさんも機能訓練型に力を入れていくような形態に変更しています。

松本部部长 : リハビリセンター Sumika さんと場所も近いので、競合しないように地域で動いていけたらいいと思います。
他によろしいでしょうか。
それでは、5. 令和 5 年度運営指導の実施計画についてお願いします。

5. 令和 5 年度運営指導の実施計画について (報告)

安部係長 : 資料 5 について説明。

松本部部长 : 何かご質問ありますでしょうか。
年間、何件実施していますか。

安部係長 : 県が指定している事業所の運営指導がある時は、市も同行しています。市が指定している事業所は、新規開設時に 1 回、指定期間中に 1 回、入所系の事業所は 3 年に 1 回で考えています。
昨年は、新型コロナウイルス感染症の関係で延期があり、計画通りにしていない事案

がありますが、福津市の考え方として、3年に1度報酬改定があるので、報酬返還とならないように、お互いの考え方を確認する意味でも、3年に1回は、何らかの形で実施を考えています。
以前は必ず現地に行って指導をしないといけないという規定になっていましたが、条件付きですが、オンラインを活用してもいいとなっていますので、お互いの負担にならないようにしていきたいと考えています。

松本部部长：通所系の事業所や施設は、現地確認をしないといけないと思いますが、訪問系の事業所と居宅介護支援事業所は、必ずしも事業所とする必要はあまりないと思います。他、よろしいでしょうか。

6. その他を事務局からご説明をお願いします。

6. その他

安部係長：初めて委員になっていただいた方もおられるので、昨年度までに部会で話し合ったことについてご報告させていただきます。

今期計画で整備する予定になっていました、看護小規模多機能型居宅介護ですが、公募を行った結果、事業所の選定をすることができませんでした。

建物の建設条件や期間を考えますと、今年度1年で公募から建物の建設までを行うということは、日程的に厳しいものがありますので、次期計画に持ち越させていただきますたいということでお話をいただいております。

地域密着型事業所の指定や更新指定の時の手数料に関して、現在、居宅介護支援事業所は新規指定3万円、更新2万円の事務手数料をご負担いただいております。地域密着型事業所の方にも居宅介護支援事業所と同じ負担をお願いしたいと前回の会議でお話しました。

今年度は、条例の改正や、内部の手続きに取りかかります。

地域密着型事業所に対しては、集団指導や集まりの場で説明していきます。

また国のシステムを使った事業所の電子申請を、令和7年度まで整備しないといけません。

当初は、令和6年度の受付開始を考えていましたが、先日、厚生労働省の説明があり、できるだけ前倒しでということで、令和5年度中の開始を目指しています。

今、福津市が取り掛かるということ、国に申請した状況です。今年度は、システム設定等を、国と調整をしながらしていかなければなりません。

具体的にいつ頃開始するのかということについては、事業所の会合等の中で説明しながら、開始したいと考えています。

国のシステムの使用に当たっては、国の標準様式を使用することになりますが、指定申請書類は今年の夏、加算につきましては報酬改定があるので年度内に様式を示すということでした。

福津市は、要綱で様式を定めていますので、開始までの間に様式の変更や手続きをすることになります。

松本部部长：何かご意見等よろしくをお願いします。

松本部部长：次年度の事業計画も含め、山城委員もおっしゃるように高齢者が増えていく中で、要介護度が上がらない、要介護にならない、要支援にならないよう、予防的な支援を中心に持っていくことが必要だと思います。

山城委員、歯科の方では、そういうことをされていますか。

山城委員 : 歯科の方では、県が口腔管理推進室を設置して、歯科医師会が歯科衛生士を雇っています。病院に派遣して、入院期間を短くするという活動を進めているところですよ。

松本部会長 : ありがとうございます。総合事業も含め、啓発をしていかないと変わりません。電子申請については、一部だけ提出資料を郵送しないといけない等、電子化をする中では、そういう事が起こらないようにしていかないと無駄になります。主任介護支援専門員研修の更新研修の受講者の平均年齢は55歳です。高齢化している状態であるので、ITに詳しいわけではありません。その辺も理解いただければと思います。
何かご意見はございませんか。

山城委員 : 介護予防の話が出ましたが、市の特徴のある、斬新なアイデアを考えていただけたらいいなと思います。

松本部会長 : ありがとうございます。
他によろしいでしょうか。なければ、本日の議事については終わります。

神田 : 事務連絡。
本日は、長時間ありがとうございました。